

## 愛媛県で得られたタイワンタケクマバチ

吉富博之<sup>1</sup>・武智礼央<sup>2</sup>・濱口正幹<sup>3</sup><sup>1</sup> 愛媛大学ミュージアム<sup>2</sup> NPO 法人森からつづく道<sup>3</sup> 愛媛大学農学部附属演習林写真1 *Xylocopa tranquebarorum* タイワンタケクマバチ

## 種の記録

Apidae ミツバチ科

*Xylocopa tranquebarorum* (Swederus, 1787)

## タイワンタケクマバチ

標本 採集年月日:2024年6月10日. 採集場所:愛媛県松山市浅海(34.008457N, 132.813687E). 採集方法:見つけ採り. 個体数:1 雌. 採集者:吉富博之. 標本保管:愛媛大学ミュージアム(写真1). 採集年月日:2024年5月3日. 採集場所:愛媛県松山市西野町えひめこどもの城園内(33.7592179N, 132.8002245E). 採集方法:見つけ採り. 個体数:1 雌. 採集者:武智礼央. 標本保管:武智礼央個人コレクション. 採集年月日:2024年6月16日. 採集場所:愛媛県松山市東野石手川河川敷(33.8436059N, 132.7957124E). 採集方法:見つけ採り. 個体数:1 雄. 採集者:濱口正幹. 標本保管:濱口正幹個人コレクション.

## 種の特徴

体長は約 3cm でキムネクマバチ *Xylocopa appendiculata circumvolans* Smith, 1873 とほぼ同じ. 雌は全身が艶のある黒色, 雄は胸腹部背面に淡白色の毛を散布し, 頭部複眼間は淡黄色を呈する.

## 備考

本種はインドから中国南部, 台湾にかけて分布する大型のハナバチで, 日本からは 2006 年に愛知県で初めて採集され(矢田, 2007), 西日本を中心に分布を拡大している外来種である. 四国では 2023 年に香川県で初めて記録された(伊藤, 2024). 本報告が愛媛県初記録となる.

浅海ではクサフジに訪花している個体を採集, 西野町では落ちていた死骸を採集, 東野では公園の防球ネットにとまる個体を採集した. 3 地点は互いに隣接する地域ではないことから, 松山市内には広く分布が拡大している可能性がある.

## 引用文献

伊藤文紀. 2024. 香川県三木町白山でタイワンタケクマバチを採集. *みんつく香川 FIELD NOTE*, (3):8-9.  
矢田直樹. 2007. 愛知県と岐阜県におけるタイワンクマバチの採集記録. *月刊むし*, (439):39-40.

(2024年6月19日受付, 2024年6月20日公開)

連絡先: 吉富博之 (e-mail: hymushi@agr.ehime-u.ac.jp)  
(Hiroyuki Yoshitomi, Leo Takechi and Masaki Hamaguchi.  
2024. *Xylocopa tranquebarorum* newly recorded from Ehime Prefecture. NS Fieldnote, 24008)